

イキイキ健活！ 「私のプラス1」



生活に気軽に取り組み始める健康習慣を1つ加える「プラス1」運動。毎月、皆さんの「プラス1」を紹介しています。



▲小林 とし子さん

私は、敦とん健活サポーターなど4種類のサポーター活動をしています。敦とん健活サポーターでは、敦とんウォークの受付をしながら、参加者の方に「お久しぶりです！元気でしたか？」「次回はここで開催するのでぜひ来てくださいね。」などたくさん声を掛けるようにしています。

初めは何かの役に立てたら嬉しいという思いで始めた活動ですが、人との出会いが楽しく、自分自身の心と体の健康にもつながっていると感じています。これからも地域の人たちとの横のつながりを大切にしていきたいです。

皆さんの「プラス1」を紹介しませんか？詳しくは、健康推進課（☎25-5311）までお気軽にお問い合わせください。

人との出会いが
経験が元気の源！

市長への提案メール募集

市民の皆さんの声をまちづくりに活かすため、6月を市民提案月間とし、ご意見やご提案を募集します。いただいた提案メールは、市長が直接目を通し、担当の部局へ適切に伝え、今後の市政運営に役立てていきます。

※ご本人の承諾のもと、公表可能なご提案・回答は、市HPや市役所1階オープンスペースで掲示します。あわせて、提案くださった方へ掲示と同様の内容を郵送します。

応募方法

「広報つるが6月号」に折り込みの応募用紙にて、6月30日（火）までに送付してください。

（切手不要）（当日消印有効）

問い合わせ・応募用紙以外での応募先

広報広聴課

☎22-8112 ☎22-6220

✉kouhou@ton21.ne.jp



敦賀の自然を あそんで まなぶ

4月15日 こどもの国
リニューアルオープン

児童文化センター「こどもの国」のリニューアルオープンを記念し、式典が行われ関係者や近隣の保育園の園児ら約50人が完成を祝いました。新しいこどもの国は、「敦賀を感じられるあそびとまなびの空間づくり」をコンセプトに整備された全天候型の子育て支援施設です。式典で米澤市長は「本施設が多くの親子に親しまれ、たくさんのこどもたちの笑顔と学びがあふれる場所となることを期待しています。」と式辞を述べました。式典後、園児らは、気比の松原をイメージした高さ6mの遊具や壁一面に投映された映像にタッチして遊ぶデジタル遊具で遊び、「魚タッチが楽しかった。」「また遊びに来たい。」と話していました。こどもの国は入館無料です（プラネタリウムは有料）。



敦賀の「おもてなし」で街が賑わう

4月6日 大型クルーズ客船
「ウエステルダム」敦賀港寄港

乗客約2,000人を乗せたオランダ船籍の大型クルーズ客船「ウエステルダム」の寄港に合わせて、金ヶ崎エリアや氣比神宮エリアを中心に賑わいイベントが開催されました。各エリアでは花換まつりをはじめ、雅楽演奏や書道体験などの日本文化を体験できるイベントが行われ、たくさんの乗船客で賑わっていました。書道体験ブースで書道パフォーマンスを行った、敦賀高校3年生の冷水渚咲さんは、「魅せる書道を意識しパフォーマンスができた。」と笑顔で話していました。また、夫婦で人道の港敦賀ムゼウムを訪れたイギリス人のヒラリー・ポープさん（75歳）は、「敦賀とユダヤ人との歴史に驚きと悲しみを感じた。敦賀の方々に感謝する。」と話していました。



敦賀のラーメンの魅力発信へ 3月27日 地域おこし協力隊委嘱式

敦賀の食文化「ラーメン」を軸に情報発信やPR活動、イベントの企画・運営などに取り組む、東京都から転入の来馬隆文さん（33）が地域おこし協力隊に着任しました。地域おこし協力隊を敦賀市に迎え入れるのは、今回で5人目となります。飲食店の運営や立ち上げに携わる中で、人が集まる理由を作ることをメインに考えて行動してきた経験を持つ来馬さんは、母親の生まれ故郷である敦賀市で、また、自身の大好きなラーメンで地域おこしがしたいとの思いから協力隊に応募しました。来馬さんは「ラーメンという食文化を入口に、敦賀市に人が訪れるきっかけを作っていきたい。」と意気込みを話しました。



公務員としての第一歩 決意新たに

4月1日 敦賀市新規採用職員
辞令交付式

敦賀市役所で辞令交付式が行われ、18人の新規採用職員に辞令が交付されました。新規採用職員の職種の内訳は、一般事務職7人、技師1人、保育士6人、学芸員1人、管理栄養士2人、保健師1人の計18人です。式では、米澤市長から全員に辞令が手渡された後、新規採用職員を代表して、吉田未来さんが「全体の奉仕者として誠実かつ公正に職務を執行することを固く誓います。」と宣誓しました。米澤市長は「社会情勢の変化に対応した、迅速かつ的確な行政運営のために、若い力と柔軟な発想、情熱を持ち課題に果敢に取り組み、市民と市のさらなる発展のために全力を尽くしてほしい。」と訓示を述べました。



小学生からの企業研究 3月25～27日 ものづくり体験バスツアー

市内の小学生にものづくりへの関心・興味をもってもらうとともに、保護者の方の市内企業への理解度を深めることを目的とした「ものづくり体験バスツアー」が行われ、3日間で22組48人が参加しました。このイベントは、市内の製造業11社などで行われる「敦賀ものづくり産業懇話会」の主催で開催され、今年で3回目です。3/25は永大産業㈱と㈱日本ピーエスを巡る行程で行われ、参加者は工場見学とワークショップを通して各企業の製造の現場を体感しました。この日親子で参加した杉下美樹さん（37歳）、芽依さん（9歳）は「社名は知っているけど、どのような仕事をしているか知らない会社があったが、今回参加して何をしている会社が理解することができた。（美樹さん）」と話していました。



桜を重ね 幸福祈る

3月27日～4月7日 花換まつり

敦賀の春の風物詩「花換まつり」が金崎宮で開催され、桜満開の境内は多くの参拝客でにぎわいました。福娘と花換えすると願いが叶うとされており、参拝客と福娘は「花換えましょう。」と互いに声をかけ縁起物の桜の小枝をタッチするように重ね合わせていました。福娘を務める千田実幸さんは「子どもの頃から花換えをしてきたので、福娘を務めるのが夢だった。一人ひとり心を込めて対応したい。」と話していました。4/5は花換婚（公開結婚式）も開催され、式を挙げた浦生佳津雄さん、美希さん夫妻は「最初は恥ずかしさがあったが、一般の方に祝っていただうれしかった。いつまでも楽しく仲のよい家庭を築きたい。」と話していました。